

教科名	科目名	単位数	履修学科	履修年次	履修区分
家庭	家庭基礎	2	ビジネス科	2年次	3・4修制

目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。	
授 業 形 態	普通教室における一斉授業、調理実習室・被服実習室における実習授業	
科 目 内 容	<p>第1章 生涯を見通す</p> <p>1. 人生を展望する</p> <p>2. 目標を持って生きる</p> <p>第2章 人生をつくる</p> <p>1. 人生をつくる</p> <p>2. 家族・家庭を見つめる</p> <p>3. これからの家庭生活と社会</p> <p>第3章 子どもと共に育つ</p> <p>1. 命を育む</p> <p>2. 子どもの育つ力を知る</p> <p>3. 子どもと関わる</p> <p>4. 子どもとの触れ合いから学ぶ</p> <p>5. これからの保育環境</p> <p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>1. 超高齢・大衆長寿社会の到来</p> <p>2. 高齢期の心身の特徴</p> <p>3. これからの超高齢社会</p> <p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>1. 私たちの生活と福祉</p> <p>2. 社会保障の考え方</p> <p>3. 共に生きる</p>	<p>第6章 食生活をつくる</p> <p>1. 食生活の課題について考える</p> <p>2. 食事と栄養・食品</p> <p>3. 食品の選択と安全</p> <p>4. 生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>5. 調理の基礎</p> <p>6. 食生活の文化と知恵</p> <p>7. これからの食生活</p> <p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>1. 被服の役割を考える</p> <p>2. 被服を入手する</p> <p>3. 被服を管理する</p> <p>4. 衣生活の文化と知恵</p> <p>5. これからの衣生活</p> <p>第8章 住生活をつくる</p> <p>1. 住生活の変遷と住居の機能</p> <p>2. 安全で快適な住生活の計画</p> <p>3. 住生活の文化と知恵</p> <p>4. これからの住生活</p> <p>第9章 経済生活を営む</p> <p>1. 情報の収集・比較と意思決定</p> <p>2. 購入・支払いのルールと方法</p> <p>3. 消費者の権利と責任</p> <p>4. 生涯の経済生活を見通す</p> <p>5. これからの経済生活</p> <p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>1. 持続可能な社会を目指して</p> <p>第11章 これからの生活を創造する</p> <p>1. 生活をデザインする</p>
評 価 の 観 点	<p>1. 主体的に学習に取り組もうとしているか…… 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>2. 自ら考え、判断することができるか…………… 思考・判断</p> <p>3. 家庭科の各課題を実践することができるか… 技能・表現</p> <p>4. 家庭科の意義や役割を理解できたか…………… 知識・技能</p>	
評 価 方 法	<p>1. 定期考査（年4回）…………… 知識・技能 / 思考・判断・表現</p> <p>2. 授業態度・提出物の提出状況…………… 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>3. ワークシート・提出物の状況…………… 主体的に学習に取り組む態度</p>	
備 考	<p>1. 各学期の評価は、定期考査60%、出席点20%、日常評価点20%の配分で行います。</p> <p>2. 学年末の成績は、各学期の成績を総合して評価します。</p>	

